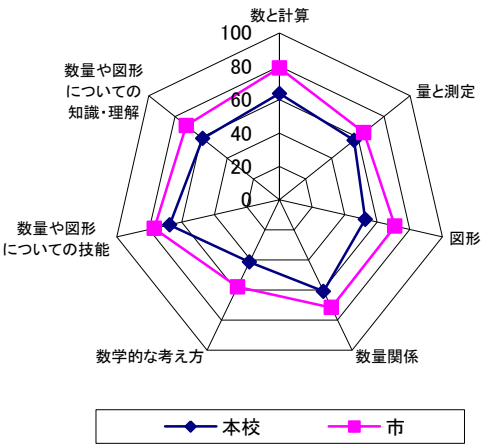


宇都宮市立上河内東小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

|     |                 | 本年度  |      |      |
|-----|-----------------|------|------|------|
|     |                 | 本校   | 市    | 参考値  |
| 領域別 | 数と計算            | 63.6 | 79.0 | 78.9 |
|     | 量と測定            | 57.1 | 64.6 | 66.2 |
|     | 図形              | 52.7 | 70.9 | 77.8 |
|     | 数量関係            | 60.9 | 71.6 | 66.6 |
|     |                 |      |      |      |
| 観点別 | 数学的な考え方         | 41.4 | 57.8 | 54.8 |
|     | 数量や図形についての技能    | 67.4 | 76.9 | 75.2 |
|     | 数量や図形についての知識・理解 | 58.9 | 71.3 | 75.5 |
|     |                 |      |      |      |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

| 領域   | 本年度の状況                                                                                                                                                                                       | 今後の指導の重点                                                                                                 |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数と計算 | 平均正答率は、市の平均を15.4ポイント下回った。<br>●少数の計算が比較的正答率が高いのに比べ、分数の計算、特にひき算とわり算の正答率が低い。普段の学習においても、分数の計算で、たし算やひき算は通分して計算することや、わり算はわる数を逆数にしてかけることを、時間の経過とともに忘れてしまうことが誤解答につながっている。また計算の最後に約分することを忘れてしまうことも多い。 | ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの<br>・計算上の留意点をその都度伝えながら、繰り返しの反復練習を、これまで以上に行っていく。                                  |
| 量と測定 | 平均正答率は、市の平均を7.5ポイント下回った。<br>○円の直径から面積を求める設問の正答率は、86.4%で市の平均正答率を8.1ポイント上回った。<br>●分速を時速に直す設問の正答率が40.9%と低かった。また、単位量当たりの値を求める式の意味を記述式で説明する設問の正答率は、13.6%で、市の平均より14.9ポイント低かった。                     | ・単位量当たりの大きさ・速さの問題について、公式を含めた基本的事項を確認しながら習熟を図る。また、平行四辺形や台形の面積を求める公式を復習し、忘れないように何度も書いたり唱えたりして覚えられるように指導する。 |
| 図形   | 平均正答率は、他の領域より低い。また、市の平均を18.2ポイント下回った。<br>○合同な三角形を作図する設問の正答率は、90.9%で、市の平均とほぼ同じであった。<br>●円の直径をもとに円周を求める設問の正答率は、13.6%であった。五角形の内角の和を求める式を選ぶ設問の正答率は、40.9%で、市の平均より19.2ポイント低かった。                    | ・円については、半径と直径、円周の関係を改めて確かめた上で、それぞれを求める問題などの練習をさせる。多角形の内角の和については、対角線で複数の三角形に分ける考え方を確かめる。                  |
| 数量関係 | 平均正答率は、市の平均を10.7ポイント下回った。<br>○文字の式と比例・反比例の設問の正答率が高く、市の平均と同程度であった。<br>●割合と比の設問の正答率が低く、特に比を使って求める問題の求め方を説明したり、グラフから割合を読み取って比較したりするなど、活用内容の設問の正答率が低く、市の平均を10ポイント以上下回った。                         | ・比の性質や特徴などの基本を確認し、等しい比を求める問題や比を使って必要な量を求める問題などの練習に取り組ませることで習熟を図る。                                        |
|      |                                                                                                                                                                                              |                                                                                                          |
|      |                                                                                                                                                                                              |                                                                                                          |